令和８年度　　守山北高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力･伝える力･協働する力・創造する力等の生きる力を育成する。
・地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する。
・地域と連携したキャリア教育を推進する。
・多様なニーズに応じた教育課程を展開し、進路希望を実現するために必要な力を育成する。
・危機管理意識の高揚を図り、安心で安全な学校づくりを推進する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒の自立する力・伝える力･協働する力・創造する力等の生きる力の育成に努めている。	B		
	地域と協働した学びに取り組み、地域の未来を担う人材の育成に努めている。	A		
	多様なニーズに応じた教育課程により、進路希望の実現に努めている。	B		
2　学習指導	生徒の生活実態を把握し、自主的な学習につながる教科指導に努めている。	B		
	授業を大切にし学習できる雰囲気づくりを進めると共に、授業法の研究に努めている。	B		
3　生徒指導	挨拶の励行等を通じて、基本的生活習慣の確立に努めている。	B		
	個人面談の充実を図ることで、より緊密な信頼関係を築き、心に届く指導に努めている。	A		
	表情やしぐさ等を詳しく観察することで、『いじめ』の早期発見に努めている。	B		
4　進路指導	地域との連携による様々な取組を通したキャリア教育を推進している	A		
	進学希望生徒に対しては模擬試験やガイダンスを通し、時宜にかなった情報や指針を提供するとともに、進学補習を通じて学力伸長を図っている。	B		
	就職希望生徒に対しては就職模擬試験やガイダンス、個人指導を通して採用選考への対応力を身につけさせている。	B		
5　特別活動等	部活動を活発化することによって、学校生活の充実を図っている。	C		
	体育祭・文化祭や修学旅行等の取組を通して、生徒の自主性や自立心の伸長を図っている。	B		
6　学校図書館	生徒の読書意欲を喚起するため、読書週間の充実を図っている。	B		
	広報誌発行等を通じて蔵書や読書の情報提供に努め、図書館利用を促進している。	B		
7　保健・安全指導	「保健だより」の発行や個別指導により、生徒の健康意識を高めるよう努めている。	B		
	教育相談委員会を中心に、生徒・保護者への適切な対応に努めている。	A		
8　人権教育	人権ＬＨＲや人権講演会を通して、生徒の人権意識を高めている。	C		
	近隣の福祉施設等との体験活動や交流を通して、他者理解に努めている。	B		
9　環境教育	ゴミの分別指導を通して、学校全体の環境保全に対する意識を高めている。	C		
	日頃の清掃活動および舎外清掃等を通じて、環境美化に努めている。	C		
10　事務・管理	個人情報の管理の徹底と適切な文書管理を行い、情報公開に対応している。	A		
	施設・設備の安全点検を行い、安心で安全な学校づくりに努めている。	A		
11　その他 学校の取組	ＰＴＡ活動等を通して、地域や保護者と密接な関係を構築するように努めている。	B		
	ホームページの更新や一斉送信メールなどを通じて、情報の発信に努めている。	B		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.morikita-h.shiga-ec.ed.jp/